



PICKUP CONTENTS ●1P…ごあいさつ／ニッポン再発見 ●2P・3P…平成27年の事業を振り返る ●4P・5P…トピックス／エコ活動／提携店ご案内 ●6P…日本のしきたり ●7P…歳時記／老舗の手技／フラワーガーデンアイリス ●8P…アイリス広場・愛読者プレゼント



ごあいさつ

日頃は格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。

私ども公益社グループは、創業以来66年。「人と人との心の結びつき」を基本として、常に時代に即したサービスやご要望にきめ細やかに対応できるように努めて参りました。おかげ様で本年度、公益社グループのセレモニー滋賀が小さなお葬式・家族葬専用式場の「フィリアホール彦根」をオープンいたしました。

来春2月には多賀町に「多賀公益会館」を開設させていただきます。私たちは、より一層地域の皆さまに寄り添い、総合サービス企業として多種多様なニーズに対応させていただきます、真心をこめて全力で取り組んでまいります。今後とも公益社グループならびに「アイリスクラブ」に一層のご愛顧を賜りますようお願いを申し上げます。

この一年間に亡くなられた皆さまに謹んで哀悼の意を表します。皆さまにとって2016年が幸せな一年となりますことを祈念して歳末のご挨拶とさせていただきます。

株式会社 公益社

代表取締役 木川英樹

RE DISCOVER NIPPON

ニッポン再発見⑮

江戸時代のタイムカプセル!!

徳川将軍吉宗の時代、時速3里半(13km)、坂でも登る「自走車」の試作が彦根藩士の平石久平次時光(1696~1771)によって行われた。『新製陸舟奔車』(しんせいりくしゅうほんしゃ)という。人力で走る三輪車であり(自走車)、享保17年(1732)実際に作成、走行に成功している。これは、ヨーロッパでの自転車発明よりも遡り、世界で初めて自転車の概念を実現したものである。

久平次は、天文学者だった。京都で和算、天文学を学び、享保8年(1723)28歳のとき「星極運曆」を著し、翌年、「新製日本天文分野図」を完成させた。実現はしなかったが、幕府は「星極運曆」を元に暦の改革をしようとしたという。

彦根の位置を「35度30分」と観測し、それは100年後の伊能忠敬の観測値「35度16分」とかわらぬ精度であった。久平次の観測がいかに優れていたかを物語っている。

久平次は、その他、医術・軍学書・七曜曆・月蝕の算出法・柔術書・馬術書など376冊、藩の記録・奉行所の記録など148冊を遺し、明和8年(1771)8月、76歳でこの世を去った。

久平次の発明はそのまま埋もれてしまったが、「自走

長松院(チヨウシュウウイン)

1602年、芹川の三角州にて彦根藩初代井伊直政公は茶毘に付された。その跡地に創建された寺院が長松院である。彦根市中央町4-29 / tel.0749-24-3225

車」の古文書は、彦根市立図書館に直筆の「平石家文書」として保存されている。この文書は、平石家六代目弥右衛門が父の業績を子孫に伝えるため、五代目久平次時光の死後20年の命日に長松院に三重の鉄塔(約8m)を建立して時光の遺書(主に算数・天文・暦・武術等)及び平石家役向の記録文書などを納めたものの一部である。

三重の鉄塔は第二次世界大戦中に供出され、御影石の台座のみ長松院境内に今も残っている。この台座、実は1791年製のタイムカプセルなのである。後世に伝えるという機能に特化した野外構造物としては、日本初なのではないだろうか。しかも三重の鉄塔である。どんなデザインだったのか、気になってしかたがない。『新製陸舟奔車』もタイムカプセルも、もっと有名になってほしいと思うのだが。

雲行



▶長松院・台座のみ遺る三重の鉄塔跡

平成27年 1年の主な事業を振り返ります

■ 2月メモリアルプラザ公益会館第2駐車場増設



彦根市戸賀町西交差点北側に収容台数約100台の駐車場を増設しました。通夜参列時も夜間照明を明るくし安全にご利用いただけるよう完備いたしました。

■ 7月～10月滋賀県交通安全職域別無事故運動 参加車両の運行、安全運転を組織ぐるみで習慣付け、交通事故の防止を図ります。

TOPIC 1 4頁詳細記事をご覧ください



■ 8月小さなお葬式・家族葬専用式場「フィリアホール彦根」オープン



▶ 1家族限定の貸切式場

■ 8月29日(土)・30日(日) フィリアホール彦根 内覧会開催

TOPIC 3 4頁詳細記事をご覧ください



■ 終活セミナー

- 1月28日(水) 八日市公益会館 エンディングノートの書き方
- 2月26日(木) メモリアルプラザ公益会館 税理士からみるエンディングノート
- 4月24日(金) 八日市公益会館 家族葬とは?
- 5月22日(金) メモリアルプラザ公益会館 エンディングノートの書き方
- 7月30日(木) 近江八幡公益会館 税理士からみるエンディングノート
- 8月18日(日) 八日市公益会館 はじめての喪主 **TOPIC 2**



▶ 税理士から見るエンディングノート



▶ 冠婚葬祭アドバイザーの家族葬のお話

■ 葬祭フェア

- 3月22日(日) 近江八幡公益会館 人形法要祭+初めての茶道教室
- 6月28日(日) 八日市公益会館 人形法要祭+導師による琵琶説法
- 9月19日(土) メモリアルプラザ公益会館 人形法要祭+住職から教わる絹糸手編み教室

TOPIC 4 4頁詳細記事をご覧ください



▶ それぞれの想いのこもったお人形を丁寧ににお供養させていただきました。

■ 追悼ビデオ「メモリアルDVD」の導入

あの日、あの時の笑顔がよみがえる。写真が語る故人の人生を振り返るオリジナルビデオ



FLOWER GARDEN IRIS の1年



3月18日～22日
Spring Flower Festival
春の花まつり



かわいらしい春のお花のフラワーバイキングが好評でした♪

8月1日・11月1日
新しい仲間が加わりました



一生懸命頑張ってます。情熱は抜けません!

8月29日・30日
2日間限定!
「Flower Bar」OPEN!!



バーテンダーに変身! お客様と楽しいひと時をご一緒させていただきました。

9月17日～23日
Autumn Flower Week



色とりどりのお花で少し早い秋を楽しんでいただきました。

各部門の取り組み

カスタマーサービス部(ホールスタッフ)

この1年はたくさんの方との出会いがありました。ご葬儀でお会いする方、公益会館でのセミナーや葬祭フェアに来て下さる方などから感謝しております。私達ホールスタッフはお客様のお役に立てるよう研修会や勉強会を継続して実施しています。皆さまに心安らく時を過ごしていただき、少しでも寄り添えるスタッフでありたいと願っております。常にお客様の立場になり考え、信頼を築くことが私たちの役割と感じています。(支配人:清水まゆみ)



▶ 開式前の打合せ



▶ 事前相談勉強会

運輸事業部

霊柩車やバスの運行業務において、日々安全運行と人・環境に優しい運転を基本に業務にあたっております。どのような場面でもお客様の目線で考え、真心を込めたサービスができるよう努めてまいります。ご葬儀でのバス、貸切バスでの状況に応じた配慮を行い、安全安心で地域の皆さまから信頼をいただける運輸事業部として今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(運輸事業部:中山良輝)



▶ 出庫前の安全点検



▶ 交通安全勉強会

生花事業部

個々の感性&技術力向上を目指し、定期的に勉強会を開催しています。ご葬儀の設営だけでなく、ご出棺前のお別れ花の準備、ご自宅へのお届けやイベントへの参加等、私たちが、お客様に直接お目にかかる機会がございます。この1年は、技術を磨くことに合わせて基本接遇の研修も行い、スタッフとしての品質向上を図りました。また、フラワーガーデンアイリスでは、定期的にイベントを開催し様々なお客様のニーズにお応えできるよう取り組んでおります。(生花事業部:福永剛史)



▶ 葬祭部からの発注書確認



▶ 祭壇の生花装飾

総務部

会社にとって様々な役割を持つ総務部。会社の窓口として基本的なビジネスマナーに加え、更にレベルアップした対応を目指し、来社された方への小さな心配りや電話での正確でわかりやすい対応などの勉強会を実施しています。業務を正確に迅速に遂行すると共に、より信頼される総務部としてスタッフ一同の取り組みは続きます。(総務部:田崎秀子)



▶ 総務部事務所にて



▶ お客様への対応

葬祭事業部

地域の皆さまに信頼と安心でお応えできるよう、研修会や勉強会を継続的に実施しています。一般的なお葬式から家族葬まで時代のニーズを読み取り、より満足いただける内容を提供しています。また、地域の方との強いパートナーシップを目指し、各エリアにおいて終活セミナーや葬祭フェアを定期的に実施しています。今後も地域の方との絆を大切に様々なニーズに対応し、よりご満足いただける内容を提供していきます。(葬祭事業部:柳澤幸宏)



▶ 企画打合せ意見炸裂



▶ 追悼ビデオ「メモリアルDVD」の作成



公益社のエコ活動
美知メセナ

3年目



EMS71576/ISO14001:2004
環境マネジメントシステム
ISO14001 認証取得



環境美化活動「美知メセナ」に取り組み3年になりました。当初より毎月の清掃活動を継続して行っております。この清掃活動は、地域の美化活動とごみのポイ捨ての啓発として、地域全体のモラルの向上につながると願っています。歩道の植込みには寒椿と共にパンジーやビオラ、日々草などの植替えも季節に合せ行い、実際に活動を通じて、道行く方との交流や激励のお言葉に力づけられながら地道に環境保全に努めています。これからも全社での取り組みとして元気に続けてまいります。

TOPIC
1

運輸事業部の交通安全啓発活動

恒例の「秋の全国交通安全運動」に地域の皆さまの交通安全意識の啓発と事故防止のため、街頭活動を実施しました。彦根市小泉町と戸賀町西の2ヶ所の交差点での街頭指導、子どもや高齢者等の保護誘導、自転車安全利用の呼びかけ、シートベルト着用、運転中の携帯電話使用禁止などの呼びかけを中心にプラカードやのぼり旗での啓発活動。安全で安心なまちづくりの一環として、交通安全の高揚と交通事故防止を呼びかけました。

(運輸事業部：山田広希)



▶朝一番の交差点にて



▶歩行者の誘導、元気なあいさつと

TOPIC
2

八日市 終活セミナー 「はじめての喪主」開催

8月18日(日) 八日市公会館



恒例の終活セミナー。今回はもしもの時のために「喪主」がやるべき重要なこと。をおなじみの冠婚葬祭アドバイザー戌亥正三郎先生に講演いただきました。これからの喪主世代の方々に軽快なテンポで解り易くお話しいただき、メモを取られる方、後から相談される方など関心の深さが伺われました。地域の皆さまとのふれあいの場でもあるセミナーをこれからも定期的に開催させていただきます。

(葬祭事業部：堀内勇人)

TOPIC
3

フィリアホール彦根 内覧会開催しました



小さなお葬式・家族葬専用式場「フィリアホール彦根」が8月に開設いたしました。1家族限定の貸切式場で、充実した設備と明るいイメージの式場です。

オープンを記念して8月29日(土)30日(日)の2日間に渡り内覧会を開催しました。期間中は葬儀の事前相談会を行い、様々なご相談に専門スタッフがお応えさせていただきました。

同時開催の家族葬セミナーでは、家族葬についての疑問や留意点などの分かりやすいお話。iPad体験講座ではタブレット端末iPad(アイパッド)の使い方を、ゆっくり丁寧に教わる初心者向けのやさしい講座で、タブレット端末を操作するのが初めてという方にも楽しんでいただきました。

公益社グループのフラワーガーデンアイリスからは、2日間限定でFlower Bar(フラワーバー)をオープンし「フラワーカクテル」づくりを楽しんでいただきました。多くのお客様にお越しいただき、ありがとうございました。

「フィリアホール彦根」では、事前相談を随時開催しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

(葬祭事業部：鷹田大典)



▶家族葬セミナー



▶タブレット体験教室



▶Flower Bar オープン



▶お花と雑貨の特売会

TOPIC
4

彦根 葬祭フェア「人形法要祭」開催

9月19日(土) メモリアルプラザ公会館

雛人形に代表されるような日本人形、長く一緒に過ごした愛着のあるぬいぐるみも、時間の経過とともに傷みが目立ち始め、かわいそうに思うように…。それぞれの想いの詰まったたくさんのお人形を祭壇脇にならべさせていただき、浄土宗圓常寺ご住職の読経のもとお供養させていただきました。多くの参列を賜り、今までの感謝の気持ちを伝えることができました。同時開催の楽楽講座「お寺の住職から教わる絹糸手編みストラップ教室」では、色とりどりの絹糸を使って四つ編みを教わり、自分だけの豪華ストラップが出来上がりました。

また、屋外での季節のお花即売は毎回好評いただいております。今回



は花苗をメインに特別価格でご提供。新米コシヒカリの特売や肉巻きおにぎり、ところてん、おからドーナツの販売コーナーなど盛りだくさんで大賑わいでした。

(葬祭事業部：川口尚正)

TOPIC
5

第67期 期首全体会議

去る10月1日、第67期の期首全体会議を開催しました。今期スローガンは「真心からの想いやり」として弊社代表より経営方針の発表がありました。相手の身になり行動し、相手の目線での気持ちを敏感に感じ取ることができるよう全社員が新年度の決意を新たにしました。

毎月10日の早朝全体会議とは異なり、気持ちよい緊張感の中、各部署からは前期の検証を踏まえ、各々の部署長より今期の目標と具体的な取り組みの発表を行い、意気込みが伝わる期首全体会議となりました。今期も全社員がぶれることなく同じ方向に向かって進んで行くことを確認しました。
(葬祭事業部：木瀬信一)



TOPIC
6

第20期 公友会定時総会

10月29日(木)公友会(公益社の主要協力業者会)の定時総会が開催され、公益社の第67期における経営方針を弊社代表より発表。今期もより一層の協力体制を築くことをお願いするとともに、お客様のことを考えた品質の向上を誓い、多賀公益会館のオープンも控え、ガンパロー!の力強い意気込みで公益社と協力業者との意思統一を確認することができました。続いたの講演会では上方講師 旭堂南海師より「2017年NHK大河ドラマを100倍楽しむ基礎知識～井伊直虎はリボンの騎士か?!～」と題しまるで見てきたかのように分かりやすく解説いただきました。
(葬祭事業部：木瀬信一)



▶社長より経営方針発表



▶上方講師 旭堂南海師

多賀 公益会館 来春2月オープン!

犬上郡多賀町多賀1479番地 (近江鉄道 多賀大社前駅すぐ)



かねてより計画、準備してまいりました「多賀公益会館」。来年2月のオープンに向け、順調に建設進行中です。大型駐車場を兼ね備え鉄骨造平屋建て、大小の式場とゆったりとしたロビー、会食室、親族控室等、落ち着いた空間で皆さまをお迎えいたします。大規模葬から一般的なご葬儀、家族葬、小規模葬までどなたでもご利用いただける施設です。隣接するフラワーショップでは、新鮮なお花や雑貨をご用意させていただきます。ご期待ください。

公益社のエコ活動



夏から秋、秋から冬へと季節に合わせ、日々草から寒さに強いパンジーへと一つひとつ丁寧に植替えを行いました。その横には、寒椿がつぼみをつけています。この冬も寒さに負けずがんばって咲き続けるお花に足を止めて幸せを感じていただけるよう、美化活動を継続してまいります。

▼植替え完了しました



▲除草・植替え・水やり・清掃を分担で



アイリスクラス 提携店ご案内

会員のみなさまの暮らしに役立つお店を紹介するコーナーです。詳しくは各店にお問い合わせください。

会員特典

酒類お買上げの場合 消費税サービス



創業1717年当時店主の布屋市兵衛は、井伊家より名字帯刀を許された御用商人で屋号を布市と名付け営業を営んでおりました。現在も花しょうぶ通りの中央で布市屋号で厳選した近江の地酒を中心にお客様にご満足いただける商品を誠意を込めて販売致しております。是非一度ご来店ください。

出口酒店

〒522-0083 彦根市河原三丁目4-37
tel.0749-22-0050

会員特典

3,000円以上お買上げの方 当店売価より5%割引



230平米の店内には昭和の時代の感じが思い出されるなつかしの駄菓子山積みで皆さまのご来店をお待ちしております。値段も問屋直売店につきお買得品満載で各種行事の菓子詰合せも対応させて頂いております。

アメキ

〒527-0018 東近江市八日市清水三丁目2-35
tel.0748-24-0288

会員特典

スタジオ撮影料金から10%割引

(但し証明写真除外)



新しい年のスタートを笑顔の家族写真で。家族の絆は変えることのできない宝物になります。当店は最新設備のスタジオを完備。プロのカメラマンが皆様のお越しをお待ちしています。

ダイヤモンドフォト

〒523-0051 近江八幡市八木町130-5
tel.0748-33-4004

お正月になぜ、餅を食べるのか!

「お正月は来る来る、ばんじょう山の腰まで、赤い餅に白い餅に、松葉にさして持ってくる」これは群馬県榛名山麓のわらべ唄です。歌詞には赤い餅と白い餅とありますが、同県新田郡新田町の農家では、暮れについた餅を赤く染めてお供え餅としており、茨城県やその他の県にも赤い餅をつく例は多々あります。

いずれにしても、昔はどの農家でも暮れになりますと餅つきをしていました。12月31日の大晦日は一夜餅、また、29日は苦餅と言ひまして、その日に餅をつくの嫌いました。たいてい30日ごろに餅をつく杵の音が聞こえたものでした。

全国各地にある峠の茶屋で売られていた餅は「力餅」という名で今も有名になっています。昔は徒歩で峠越えをしたから力を付ける必要があり、そのために食べた餅であったのです。餅には力を付けるという考えが古くからありました。私たちがうどん屋で食べる「カうどん」もこれから仕事に精を出そうという時に食べる人が多いのです。

出雲地方では正月の供え物として、力餅が供えられ、力起こしの餅とも呼んでいます。



飛騨地方では苗代を起こす頃につく餅を「力餅」と呼びました。餅にはある種の霊力があると信じられていました。

餅は福の源であり福神でもあります。2人が向き合って餅を引っ張り合うことを「福引」といいますのも、それと深い関連があり正月の鏡餅は福をもたらす福神を考えられています。

全国各地で正月に餅を儀礼食として、神仏に供える行為はその年の稲の豊作を祈り生命を更新する新しい門出の儀式を意味すると考えられてきました。

このように餅は正月に不可欠の食物であり、誰でも正月には餅の入った雑煮を食べるものと考えられています。しかし、そのような中であって正月に餅をつかず食べず備えずという禁忌を継承している家や一族が全国各地に点在しています。この餅禁忌伝承は、民俗学では「餅なし正月」とよばれています。餅をつかない理由は、先祖が戦から帰ってきたら、すでに正月になっていたの、餅つきをしなるとか、或いは餅をついたときに誤って頭を杵でついてしまったとか、急に赤い血に染まってしまったなどという不吉な伝説が伝えられています。(猫田文吾)

家族葬と喪中ハガキ

ご家族が亡くなったその年には年賀状を辞退するという習わしは、不幸があった1年間その親族は喪に服するという慣習に従ってのものです。神道では死を穢れと考えられ、神社にお参りできないのも同様です。

近年、増えてきている家族葬の場合は、故人様が他界されたことをお知らせできなかった方に喪中ハガキでお知らせすることになり、喪中ハガキが死亡通知状になる場合があります。

年始のご挨拶を失礼させていただく文面にプラスして、葬儀の事後通知も必要なかもしれません。

[文例]

本年〇月〇日父〇〇〇が永眠致しました
早速お知らせ申し上げるべきところでございましたが
御通知が遅れました事を深くお詫び申し上げます
葬儀は故人の遺志により近親者のみにて滞りなく相済ませました
ここに生前中故人の賜りました御厚誼に対し心からお礼申し上げます

●喪中ハガキを受け取ったら…

あらためて返信しなくても構いません。受け取って初めて亡くなられたことを知った場合など、年賀状にかえて1月8日以降に寒中見舞いを出されると丁寧ですね。

ポイント ① ご挨拶状をいただいたお礼 ② ご遺族がさみしい年始を迎えられることへの慰めと励まし ③ こちらからも年賀状をご遠慮させていただく旨

[文例]

寒中お見舞い申し上げます。
ご丁寧なご挨拶状をいただきありがとうございます。
〇〇様が亡くなられ〇ヶ月になり慌ただしさも一段落つかれたかと存じます。
とはいえ、まだまだお寂しい毎日を過ごされているのではないのでしょうか。
服喪中でいらっしゃいますので年賀状はご遠慮させていただきますがご家族様にはどうかおだやかな新春を迎えられますよう心からお祈り申し上げます。

●あいさつの行き違いになったら…

年賀状を出してしまった後に先方から喪中ハガキが届いた場合、お詫びとお悔みの書状を出すなど、素直にお詫びした方がいいでしょう。

喪中に関連する一般的なしきたりですが決まり事ではありません。しかし、そこがむずかしいところでもあります。皆さまのご参考にお届けしております。

M 近年の年賀状事情

最近ではメールやパソコンの普及で、いつでも、誰とでも、手軽に連絡が取れる時代になりました。そんなことから年賀状を出さない人が増えているわけです。特に、若年の年賀状離れが進んでおり、LINEやfacebookなどオンライン上でコミュニケーションをとれるツールが普及(一瞬にして大勢に発信できる便利なツールで、友達に元旦の朝に準備をしても、年始の挨拶ができお金もかかりません)。年賀状の本来の目的は、近況を伝える挨拶であり、旧交を温めあうモノです。この目的だけ

ならFacebookでも、ある程度代用が可能かもしれません。しかし、年賀状は単なる利便性で片付けるわけにはいかないものです。永年の歴史をもつ日本の文化であり、先人が積み重ねて来た礼の儀式なのです。決してSNSで補完は出来ても、代用がきくものではないと思います。ハガキを出す風習が薄れつつある近年、メールで挨拶を済ませるのは簡単ですが、年賀状のやり取りは日本の古き良き文化として残したいものです。

「あけましておめでとうございます」で、どの家庭も始まる新年。カレンダーが付け替えられ、昨日とは大きく違った格別の意味が込められた日。正月とは「年神さまが来臨することを祝う「神迎えの大切な行事でもありました。

年神(歳神)さまとは、「トシ(稲の稔り)をもたらす穀霊であり、稲作を守護する祖霊とか、もっと広くは子供たちに幸せをもたらす神と考えられている。また、陰陽師の影響から「歳徳神」とも呼ばれ、その年の恵方(吉兆)をつかさどる神とも言われています。きちんと年神さまを迎えないと、その年が不幸になると信じられており、家の門に立てる門松は神様の「依代(よりしろ)」として重要な意味を持っています。

家庭で飾られる注連縄(しめなわ)飾りは人間に災いをもたらす禍神(まかがみ)が家の中に入らないようにする呪いの意味があります。鏡餅も年神さまへのお供え物であり、年神さまを饗応するための料理がおせち料理です。神にささげた供物のお下がり分けしたのが「お年玉」なのです。年神(歳神)を迎えるさまざなまじり風習が今につながっているのがお正月です。

お正月は年の始まりの日として、たいいてい家庭で年中行事の中でも特別の意味を持っています。ところが最近のデパートでは、クリスマスセールの華やかさに比べてお正月はその後といった感じになってきました。その上、温泉やホテル、スキー場で正月を過ごす人も増えてきました。

正月行事は時の変化を受け入れながら変わりつつあります。(猫田文吾)

伝統 老舗の手技

協力 多賀や
犬上郡多賀町多賀601
tel.0749-48-1430
http://www.itokirimochi.co.jp/

多賀の名物といえば、糸切餅だ。お多賀参りのお土産はもちろんのこと、最近では仏事のお供えに使われることも多いという。

昭和30年代には多賀駅から多賀大社までの間に十数軒の糸切餅店が軒を連ねたが、現在では3軒のみとなった。その中でも「多賀や」は圧倒的なシェアを誇っている。「多賀や」のルーツは江戸末期まで遡る。もともとは、呉服屋として多賀町で創業し、時代の流れとともに商いの形を変え現在に至る。

糸切餅は、餅を引き延ばすことから延命・長寿の縁起物。刃物を使わずに「三味線の糸」を使って切ったのが由来とされている。

特徴は、なんといってもあの柔らかな食感にある。原料には餅粉でなく米粉を用いる。「多賀や」では、柔らかな食感を出すために、普通の餅の4倍も搗くのだそうだ。そして、そのためには生地を蒸し具合が重要となる。季節や天候によって、長年の経験と勘をもとに水加減・蒸し時間を微妙に調節するのが腕の見せどころだ。添加物を極力使わないことから日持ちがしないため、早めに食べ切るのが望ましい。



ただ、その歴史が長いだけに、少し時間が経ってかたくなりかけたのが好みの人や、焼いて食べるのが美味しいと、通の間で、いろいろ食べ方が論じられているのも、糸切餅ならではの。

FLOWER GARDEN IRIS から

新年を飾る

年の瀬も近づくこの季節、あちこちで見かけるようになるお正月飾り。この様々な飾りは、年神様(正月様)を家にお迎えして新年を祝う大切な風習とされています。ここで、いくつかその意味や由来をご紹介します。



門松

この門松を目印に年神様がいらっしゃいます。年中緑色をしている(枯れない)、神様が宿る木とされる「松」を中心に作られた門松は1対で飾ると良いとされています。

注連縄

「ここは年神様をお迎えする神聖な場所」という意味で飾ります。縄で境界を作り、そこに不浄なものが入らないよう、魔除けの役割もあります。

毎年11月の酉の日に開催される「酉の市」で見かける、小判や招き猫などが飾られた熊手。元々は農具として売られていたものを「金運を掴み集める」「福を掃き込む」としゃれを交えて売ったのが始まりです。お正月飾りとは違うのですが、縁起物なのでお正月にも飾られます。飾るのは高いところが良いとされています。来年のお正月は、ちょっとだけ改まって新年を飾ってみませんか?

熊手



Flower Bar 出張いたします!



「Flower Bar」とは、たくさん並んだ何種類ものお花の中から、お好きなお花を何本か選んでいただき、お客様ご自身でフラワーカクテル(アレンジ)を楽しんでいただく、というものです。もちろん、バーテンダーに扮した私たちもお手伝い致します。

各種イベントなどお声をかけていただいたら出張させていただきます。和気あいあいとした楽しいお時間をご一緒できることをお待ちしております。

詳細は、スタッフまでお気軽に。



IRIS 彦根市小泉町696番地8
tel.0749-26-8783
フラワーガーデンアイリス fax.0749-26-4141

冬のお花の効能

- ポインセチア ✨ 気のエネルギーを高揚させ、生命力を強くする。
- アイリス ✨ 心身の緊張をほぐす。
- 水仙 ✨ 興奮を静める。
- パンジー ✨ 消化機能を高める。
- シクラメン ✨ 疲労した体を癒し、活力を与える。



アイリス広場

Q & A

- Q** 葬儀の時、数珠を両手にかける人と片手だけの人があります。どちらが正しいのですか？また、ふさの色はどのように使い分けるのか、数珠の素材の使い分けなど、数珠に関することを教えてください。(彦根市 60代 女性)
- A** よく見かけるのは、両手にかけ房は下に垂らすかたちです。ほかにも両手の中指に掛けそのまま合掌や親玉を揃え房は手のひらの間から下に垂らすなど、数珠に対しては、それぞれの宗派による作法などで意味や違いがあります。基本的に房の色は好みですが、一部の正式念珠では房の色が男女で指定されているケースなど、地域によっても違いがあります。
- Q** お墓に納骨した後の骨壺はどうすれば良いのですか？(彦根市 50代 男性)
- A** 納骨後の空いた骨壺は、お寺の墓地や霊園などで引き取ってくれるところもありますが、そうでない場合はなかなかご自宅での処分は抵抗があるものです。公益社で引き取りますのでご連絡ください。
- Q** 葬儀の言葉かけなど教えてください。(多賀町 40代 女性)
- A** お悔やみは、遺族へのいたわりをこめながら、慎み深い挨拶を心がけたいものです。いつもより少し小さめのトーンで落ち着いた気持ち伝えます。
「この度はご愁傷様です」「お悔み申し上げます」など一般的で「この度は急なことで。心からお悔やみ申し上げます」のように使います。

- どう声をかけていいかわからないとき、悲しみの深い場合での慰めの言葉として、多くは言わずに「心中、お察しいたします」とだけ伝えれば良いでしょう。
- 急病だと聞いてから1～2ヶ月くらいの内に亡くなった場合には「本当に急なことでしたね」の一言だけでも気持ちは伝わります。
- 故人が長命だったときなどは「ご長寿とはいえ残念です」などですが、こちらから「天寿をまっとうされて」や「大往生されて」は遺族にとっては不快に思われる場合があるので配慮されるといいでしょう。また、「本当にお体を大事にしてください」とご遺族への気配りもときには必要です。
- その場で香典を渡す場合であれば「この度はまことにご愁傷様でございます。心からお悔やみ申し上げます。心ばかりですが、ご霊前にお供えください」が一般的な例です。

みなさまのおたよりから

- 永代供養について、お寺・墓・位牌・料金など詳しい記事をお願いします。(近江八幡市 女性 他)
- お墓は必要なのか、田中稔さんの論文には大変興味を持ちました。次回が楽しみです。(彦根市 50代 女性 他多数)
— 今回の掲載はお休みです。次回をお楽しみに。
- 家族葬の記事は参考になりました。(彦根市 50代 男性 他多数)
- 家族葬をされる場合でも、どうしても参列したい方もおられると思います。案内に一言、参列を控えていただける言葉は入れると、訃報を受けた側としても、ご遺族の意向を素直に取れるのではないのでしょうか。(多賀町 40代 女性)
- 家族葬を実際に経験された方のお話もお聞かせください。(近江八幡市 60代 女性)

編集部より

皆さまから、毎回の多くのご意見やご要望をお送りいただきありがとうございます。お便りのご意見やご感想すべてにお応えしたいのですが、限られた中での掲載となり、心残りの部分です。皆さまと私たちを結ぶ架け橋となるよう誌面作りを心掛けたいといつも思っています。今後もアイリスクラブに一層のご愛顧いただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

本年は、公益社では、家族葬・小さなお葬式専用式場「フィリアホール彦根」をオープンさせていただき、地域の皆さまとのつながりを改めて感じた1年でした。

2016年も会員の皆さまにとって素晴らしい年になりますようお祈りいたします。
アイリスクラブ事務局 吉田

アイリスクラブをご紹介ください

来年「多賀公益会館」オープンに伴い、アイリスクラブ入会金半額キャンペーンを実施いたします。会員の皆さまのお友達をぜひご紹介ください。詳細が決まり次第、いち早くお知らせいたします。



年末大感謝
ご愛読者プレゼント
会員のみなさまに日頃の感謝の気持ちを込めて

「老舗の手技」でご紹介の
多賀や様「糸切餅」
はなやかなお正月の花飾り
「迎春寄せ植え」

抽選で
10
名様に

抽選で
10
名様に

● 同封の応募ハガキのアンケートにお答えのうえ、必要事項を記入しご応募ください。 **応募締切 平成27年12月21日(月)必着**

● 当選された方にはプレゼントお渡し日・場所をご連絡させていただくと共に、次号にて発表させていただきます。

vol.55「三中井のオリンピア・ケーキ詰合せ」ご当選者
■彦根市／中 洋子様・西田豊之様・内池喜吉様・福原國廣様・川越 尚様
■多賀町／中野幸彦様 ■東近江市／堤 範義様・奥 宏子様・村田悦子様
■愛荘町／宮川淳子様

*写真はイメージです

公益社は、24時間365日いつでも対応いたします

株式会社 公益社 本社：〒522-0054 滋賀県彦根市西今町939番地
TEL.0749(22)5000(代) FAX.0749(22)0042

ご葬儀のご相談・ご依頼・資料のご請求は

☎ **0120-61-4000**

今月の虹の色は、「黄金色(こがねいろ)」です。昔は銀のことを「しろがね」、金を「こがね」と呼びました。マルコ・ポーロは、日本を黄金の島だと思っていましたし、金閣寺、黄金の茶室など、金は日本をイメージする色なのかもしれません。また、金は「最高の存在を象徴する色」でもあります。